

開志専門職大学後援会

2025年度 活動報告・支援活動報告

開志専門職大学後援会 事務局
作成日：2026年6月11日



1. 開志専門職大学後援会 2025年度理事会 実施

■開催日時：2025年6月11日（水） 18時30分～20時00分

■会場：開志専門職大学 紫竹山キャンパス

■議題

第1号議案 2024年度後援会決算報告書（案）の確認

第2号議案 2025年度後援会予算報告書（案）の審議

第3号議案 理事候補者の確認

2024年度後援会決算報告書および2025年度後援会予算報告書いずれも、全会一致で承認をされました。特に臨地実務実習に関しては他の大学にはない最大の魅力であるが、支出額は大きいため、具体的にどのような用途でつかわれているのか、どの地域に実習をしているかといったところを明確に説明することが重要と示されました。また、各学部公平に支援を求める意見がありました。定期総会ではエビデンスを明確にして臨むよう意見が挙げられました。

2. 開志専門職大学 後援会 2025年度定期総会 実施

■開催日時：2025年6月22日（日） 10時00分～11時00分

■会場：開志専門職大学紫竹山キャンパス

■スケジュール

(1)2024 年度後援会活動報告および支援活動報告について

(2)2025 年度開志専門職大学活動予定について

・・・（1）・（2）は後援会事務局より説明

(3)議事【審議事項】

第1号議案 2024年度決算報告書（案）について

第2号議案 役員改選について

第3号議案 2025年度予算報告書(案)について

631世帯に対して案内文と資料を発送。

■出席者： 出席（16名）+委任状提出（239名）
=計255名

理事会での検討結果をもとに説明。

第1号議案 賛成14名、反対2名、議長一任239名

第2号議案 賛成13名、反対3名、議長一任239名

第3号議案 賛成15名、反対1名、議長一任239名

以上、原案通り承認をいただきました。

3. 開志専門職大学後援会 2026年度理事会 実施

- 開催日時：2026年6月11日（木） 18時30分～20時00分
- 会場：開志専門職大学 紫竹山キャンパス
- スケジュール
 - ①開会のあいさつ（上野副会長）
 - ②議長選出
議題
 - ・第1号議案 2024年度後援会決算報告書（案）の確認
 - ・第2号議案 2025年度後援会予算報告書（案）の審議
 - ・第3号議案 理事候補者の確認
 - ③その他諸連絡（事務局）
 - ④閉会

星藍祭当日の様子



星藍祭★ ゲストトークショー
13時から F204
15時終了予定 途中入退場OK
「週刊少年サンデー」元編集長
小学館・第2コミック局プロデューサー
縄田 正樹様
聞き手 清野寿子 川瀬純子
マンガ編集長が
マンガ分科生に
伝える!!
みんなにも答えてや!
質問コーナー有り!



学生厚生施設整備補助

紫竹山キャンパス ウォータークーラー寄贈（事業創造学部）

紫竹山キャンパス 1Fカフェテリア（学生食堂）に、ウォータークーラーを設置いたしました。

SDGs の観点から、マイボトル専用とし、高速で給水が可能なタイプを後援会予算で購入をいたしました。

ウォータークーラーの設置は以前から学生の強い希望があり、学生食堂委託会社と検討を続けておりましたが、今回の設置にともない、委託会社が管理する形で導入が図られています。



アニメ・マンガ学部 進路支援員人件費

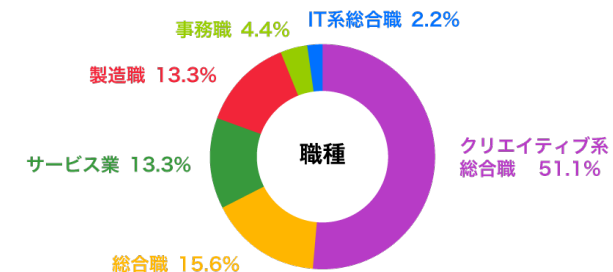
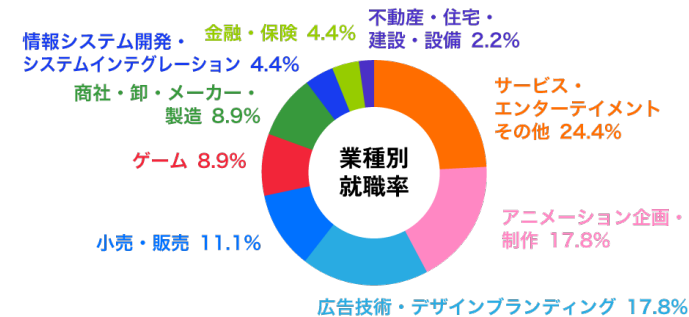
2026年3月卒業生の就職実績

	大学全体	事業創造学部	情報学部	アニメ・マンガ学部
就職希望者数	158名	53名	60名	45名
就職者数	158名	53名	60名	45名
就職率 ※1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実就職率 ※2	94.6%	96.4%	98.4%	88.2%

※1は「就職者」 / 「就職希望者」により算出

※2は「就職者の割合」算出根拠に基づき（「就職者」 + 「進学者のうち就職している者」） / （「卒業生」 - 「大学院研究科等進学者」 - 「外国の学校等入学者」 + 「進学者のうち就職している者」）により算出

アニメ・マンガ学部 2026卒の業種・職種



前年度に引き続き、2025年度も就職希望者全員が希望する就職先から内定を得ることができました。特に、アニメ・マンガ学部においては専門職種が全体の51%、その他一般企業等での職種が全体の49%と、1期生同様に多岐にわたる業界・職種での進路へ挑戦し、望んだ進路を実現しています。専門職への応募は応募書類・面接対策に加え、創作実績(ポートフォリオ)も並行して進める必要があり、専任教員による技術指導をきめ細やかに進めました。また、一般企業を希望するにあたっては様々な業界・仕事から選択する難しさがあります。キャリアセンターと進路指導員が一人ひとりに寄り添い、時に話し相手にもなりながら学生に伴走しました。

多様な支援が特に求められるアニメ・マンガ学部において、専任教員、キャリアセンター、進路支援員が、一人ひとりの希望や応募先に寄り添いながら、引き続き丁寧なサポートを行ってまいります。

学外実習支援（臨地実務実習費用他）

【臨地実務実習費支出額】

	2024年度	2025年度	対前年比
県内実習生 交通費	3,328,963円	2,263,772円	68.0%
県外実習生 交通費	3,629,327円	4,197,598円	115.7%
宿泊費	8,721,803円	10,364,679円	118.8%
合計	15,680,093円	16,826,049円	107.3%

※宿泊を伴う実習先 東京、神奈川、広島、京都、福岡、宮城、大阪、愛知、群馬、佐渡、南魚沼、

2025年度は、2024年度と比較して費用が107.3%となり、増加しました。主な要因として、県外実習に係る交通費および宿泊費の増加が挙げられ、県外実習を行う学生数の増加が大きく影響していると考えられます。実習先の選定にあたっては学生の希望を考慮していますが、近年は全学部において、新潟県内では経験することが難しい大手企業やグローバル企業での実習を希望する学生が増加しており、それに対応するため県外の実習先を拡充しています。今後は、世界的なエネルギー問題や物価上昇の影響により、公共交通機関の利用料や宿泊費のさらなる高騰も見込まれます。しかしながら、学生がより広い視野や多様な価値観に触れる機会を確保するため、県外実習を希望する学生に対しては、引き続き県外での実習機会を提供していきたいと考えています。

【ご支援額：8,413,025円 + 事業創造学部臨地実務実習費700,000円 合計9,113,025円】

学外実習支援（情報学部 南魚沼市フィールドワーク）

開志専門職大学の情報学部では、ICT専門技術に加えて社会や経営の知識を複合的に学び、地域課題の解決に挑む実践的な授業が行われています。

3年次の「マーケティング実践」では、南魚沼市で実地調査を行い、市場起点のビジネス発想を学びます。学生は現地の課題を直接調査したうえで、解決策を自ら考案し発表します。

4年次の「ソーシャルデザイン実習」では村上市を対象とし、地域の社会課題に対する創造的で持続可能なビジネス提案を実践的に探求します。現場でのフィールドワークを通じて、社会で役立つ課題解決能力を養うのが大きな特徴です。

このうち、後援会様より3年次の南魚沼市フィールドワークにおける費用（40名参加／合計1,083,656円）をご支援をいただきました。



国際交流費補助（海外研修補助等）

【オーストラリア短期語学研修】2025年2月21日(土)～3月8日(日)

◆費用について

本海外研修には事業創造学部、情報学部、アニメ・マンガ学部の3学部に募集をし、計5名が参加しました。

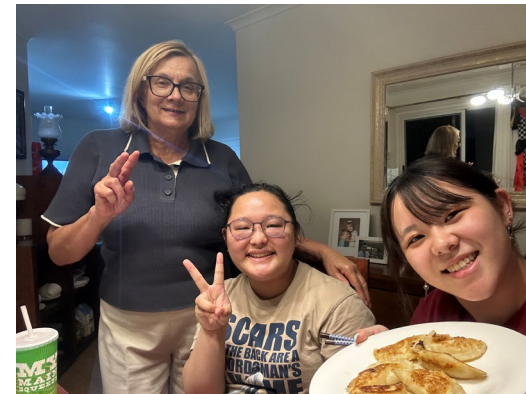
研修にかかる経費は、航空券、現地教育機関の入学金、授業料、教材費、宿泊費（ホームステイ）、現地空港とホームステイ先への往復送迎費、海外旅行総合保険料を含め、学生1名あたり総額548,856円でした。

このうち学生1人あたりの負担額は394,820円であり、後援会からの補助額は1名あたり154,036円。参加学生5名に対する**補助総額は770,180円**となりました。

◆学生の状況について

学生たちは、多民族国家であるオーストラリアでの約2週間の研修を通して、現地の人々や他国からの留学生との交流を経験し、多様な価値観を理解する養うことができました。また、現地では英語を駆使し、実践的に活用しながら公共交通機関を利用し、自ら事前にリサーチした場所を訪問するなど、主体的に行動する力や積極性を高める機会となりました。

こうした挑戦の積み重ねは、学生一人ひとりの自信の向上にもつながり、国際的な視野を広げる貴重な学びの機会となりました。



国際交流費補助（海外研修補助等）

【東西大学との国際交流について】2025年8月25日（月）～8月29日（金）

韓国の東西大学デジタルコンテンツ学部Webtoon学科の学生8名と教授1名が古町ルフルキャンパスに来学し、本学アニメ・マンガ学部の学生とマンガに関する連携ワークショップに参加しました。初日の8月25日には、国際交流の促進を目的として「Welcome Lunch Party」を開催し、韓国の学生との交流に関心を持つ学生を3学部から募集した結果、事業創造学部、情報学部、アニメ・マンガ学部の計13名が参加しました。交流は主に日本語で行われましたが、本学には韓国語を学ぶ学生もおり、日本語と韓国語の双方を用いながら相互の親睦を深めました。

最終日の8月29日には、日本文化への理解を深めることを目的として、東西大学の学生と希望する本学の学生が浴衣を着用し、燕喜館の茶室で呈茶を体験しました。本交流を通じて、学生たちは言語や文化の相違を越えて相互理解を深めるとともに、交流を通し、多様な価値観や異文化、さらには自国文化への理解を深めました。加えて、アニメ・マンガ学部の学生にとっては、創作活動をより広い文脈の中で捉える力を育む有意義な機会となりました。



後援会ページ

後援会のホームページを制作しました。本学のホームページからアクセスができます。今後様々なリンク先を掲示して、情報発信につとめてまいります。ぜひご活用ください。

『対象者別』の中から『後援会員の方へ』を選択

『開志専門職大学 後援会』ページが開きます

最下部には各種リンク先があります。

